

だれの子どもも 殺させない

幕張メッセを

武器見本市に使わせないで!!

「反対する会」と「ママの会@ちば」の県庁前宣伝で
丸山慎一県議、佐々木ゆうき千葉市議、さいとう和子党県副委員長も訴えました



今年5月に幕張メッセで武器見本市（DSEI Japan）が行なわれます。同見本市は2017年以降4回、メッセが会場。5回目となる今回は、安保3文書改訂によって、軍事費2倍化、敵基地攻撃能力保有、殺傷兵器輸出が可能になったもとでひらかれます。イスラエルをはじめ世界の軍事産業が参加し、戦車やミサイルのレプリカが展示され、武器の商取引がおこなわれます。

「幕張メッセでの武器見本市に反対する会」と「安保関連法に反対するママの会@ちば」は1月22日、幕張メッセの貸し出し中止を求める署名2003人分を千葉県に提出し、県庁前昼休み宣伝を行ないました。日本共産党から3氏が参加し、それぞれ訴えました。（上写真）

丸山県議は「県は産業振興につながる」というが、ガザなどで子どもたち、民間人を傷つけ、命を奪う兵器の売り買いによる産業振興など許されない。県は「死の商人」の儲け、ビジネスに加担することはやめるべき。憲法9条や、戦争という手段によらず紛争を解決する道を追うと謳う「非核平和千葉県宣言」の立場にたち、県有施設である幕張メッセを武器見本市につかわせてはならない、と強調しました。



加藤 英雄
(柏市)
総務防災常任委員



みわ 由美
(松戸市)
健康福祉常任委員



丸山 慎一
(船橋市)
県土整備常任委員



浅野ふみ子
(市川市)
文教常任委員

